

第2章 計画の目指す方向



1 基本理念

全ての個人が社会の対等な構成員として互いを尊重し、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、いきいきと暮らすことができる **男女共同参画社会の実現** を目指します。

2 基本目標

基本理念の実現に向け、以下3つの基本目標を設定します。

I 男女共同参画社会の実現に向けた整備

全ての市民が男女共同参画についての理解を一層推し進め、家庭や地域、学校、職場等に残る「固定的な性別役割分担意識」の解消を進めるとともに、自ら取り組むだけでなく協力して、より一層の整備が進められるように支援します。

II あらゆる分野における男女共同参画推進

社会の対等な構成員として、男女間の実質的な機会の平等が図られ、双方の視点や意思が社会のあらゆる分野に反映されていくよう、政策・方針決定過程への女性の登用を推進してきましたが、なお一層の推進を図るための整備を進めます。また、男女がともに仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を図りつつ、さまざまな分野において活躍していけるよう、多様かつ柔軟な働き方の促進や、育児・介護の支援体制の充実を図り、ウェルビーイング(多様な幸せ)※4の向上を目指します。

III 安全安心に暮らせるまちづくり
























誰もが安全安心に暮らせる環境づくりのため、社会的弱者への暴力根絶に向けた啓発・被害者支援を行うとともに、地域防災体制への女性の直接的な参画や弱者への配慮を含め、体制の更なる強化に取り組みます。また、誰もが健康で、自立して社会に参画していくための支援体制の更なる充実を図ります。

※4：ウェルビーイングについて確立された定義はないが、身体的・精神的・社会的に「良い状態」を表すといった考え方もあるように、非常に幅広い概念。ここでは国の第6次計画に合わせて(多様な幸せ)と表現している。50ページの用語解説参照

3 施策の体系

基本理念	基本目標	施策の方向	施策目標	
男女共同参画社会の実現	I 男女共同参画社会の実現に向けた整備	1 男女共同参画を進める意識の醸成	1) 男女共同参画の理解浸透	
			2) 人権を尊重する意識の醸成	
			3) 性別にとらわれない意識づくり	
		2 男女共同参画の視点に立った教育の推進	1) 学校教育における男女平等・男女共同参画意識の醸成	
			2) 男女共同参画の視点に立った家庭教育の促進	
			3) 生涯にわたる多様な学びと地域参画の促進	
	II あらゆる分野における男女共同参画推進	1 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	1) 行政分野における女性の参画拡大	女性活躍推進法推進計画
			2) 事業所や地域活動等における女性の参画拡大	
		2 「仕事と生活の調和」とウェルビーイング(多様な幸せ)向上の実現	1) 多様かつ柔軟な働き方の促進と就労支援	
			2) 男女共同の家事・育児・介護の促進のための環境整備	
			3) 仕事と生活の両立支援	
III 安全安心に暮らせるまちづくり	1 あらゆる暴力の根絶	1) ジェンダーに基づく暴力の予防と根絶のための基盤づくり	DV防止法基本計画	
		2) 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進		
		3) 子どもや高齢者、障がい者に対する暴力の根絶に向けた対策の推進		
	2 男女共同参画の視点を踏まえた防災体制の強化	1) 防災施策における男女共同参画の視点の強化		
		2) 防災の現場における女性の参画拡大		
	3 生涯にわたる健康づくり支援	1) さまざまな世代への健康管理支援		
		2) スポーツ分野における男女共同参画の推進		
	4 支援を必要とする人が安心して暮らせる環境づくり	1) 困難な問題を抱える人への支援	女性支援新法基本計画	
		2) 高齢者が安心して暮らすための環境整備		
		3) 障がい者等が安心して暮らすための環境整備		
4) 外国人住民が安心して暮らすための環境整備				

4 計画とSDGs

基本目標	施策の方向	対応するSDGsのゴール
I 男女共同参画社会の実現に向けた整備	1 男女共同参画を進める意識の醸成	10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に  
	2 男女共同参画の視点に立った教育の推進	4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう  
II あらゆる分野における男女共同参画推進	1 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 16 平和と公正をすべての人に   
	2 「仕事と生活の調和」とウェルビーイング(多様な幸せ)向上の実現	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう    
III 安全安心に暮らせるまちづくり	1 あらゆる暴力の根絶	3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に   
	2 男女共同参画の視点を踏まえた防災体制の強化	11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう  
	3 生涯にわたる健康づくり支援	3 すべての人に健康と福祉を 
	4 支援を必要とする人が安心して暮らせる環境づくり	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を    10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう   

5 指標一覧

指標		現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	担当課
基本目標Ⅰ	「男女共同参画社会基本法」の認知度 (桐生市男女共同参画市民意識調査)	55.9%	80.0% 以上	地域づくり課
	社会全体で男女が「平等である」と感じると 回答した人の割合 (桐生市男女共同参画市民意識調査)	20.1%	30.0% 以上	地域づくり課
	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割 分担意識に賛同しない人の割合 (桐生市男女共同参画市民意識調査)	80.6%	90.0% 以上	地域づくり課
基本目標Ⅱ	男女が活躍できるまちだと感じる人の割合 (「市民の声」アンケート)	17.8% (令和7年度)	30.0% 以上	地域づくり課
	市の審議会等附属機関における女性委員の 割合	25.8% (令和7年度)	30.0% 以上	地域づくり課
	人材養成講座を受講した女性の人数(年間)	26 人/年	50 人/年 以上	商工振興課
	ママ＆パパ教室参加世帯における父親の受 講率	81.3%	90.0% 以上	子育て相談課
基本目標Ⅲ	DV をふるったこと(加害体験)がある人の割合 (桐生市男女共同参画市民意識調査)	17.9%	着実に減少し、0 を 目指す	地域づくり課
	DV を受けたこと(被害体験)がある人の割合 (桐生市男女共同参画市民意識調査)	21.9%	着実に減少し、 10%以下を目指す	地域づくり課
	DV を受けた際に誰にも相談しなかった人の 割合 ※5 (桐生市男女共同参画市民意識調査)	59.2%	30.0% 以下	地域づくり課
	地域や自主防災組織において実施する、 防災に関する各種研修への女性参加率	0	30.0% 以上	防災・危機 管理課
	特定健康診査の受診率 ※6	38.6% (令和5年度)	60.0% 以上	健康地域 医療課
	堀マラソン大会参加者数	5,812 人	8,000 人 以上	スポーツ・文化 振興課
	桐生市国際交流協会が実施する外国人 向けの日本語教室参加者数(年間のべ人数)	1,164 人/年	1,500 人/年 以上	地域づくり課

※5：現状値は令和6年度の市民意識調査で「DVを受けたこと(被害体験)がある」と回答した人(71人)のうち、「誰にも相談しなかった」と回答した人(42人)の割合

目標値は仮に令和12年度の「DVを受けたことがある」人が現状と同様に71人だった場合に「誰にも相談しなかった」人の割合として算出しています。ただし、計画実行にあたっては、「DVを受けたことがある」人を減らすとともに相談につなげ、「誰にも相談しなかった」人を減らすことで目標達成を目指します。

※6：生活習慣病の原因であるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健康診査(国保受診者)